

2018年  
1月1日発行

ふれあいネットワーク

# 福祉ひの

発行 / 勤労福祉会館内 日野町社会福祉協議会 〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原一丁目1番地  
TEL 0748-52-1219・1920 FAX 0748-52-2009

## 第2回サロン・カフェ交流会



11月29日(水)、第2回「サロン・カフェ交流会」を開催しました。地域の中で開催されている、サロンやカフェに携わってられる34名の方にご参加いただきました。

鳥居平福祉会の「ツベルサロン」について、奥村薫会長よりご報告いただき、参加者の皆さんで日ごろのサロン・カフェ活動についてグループ毎に話し合っていました。

### もくじ

1. 「サロン・カフェ交流会」
2. } 「心ふれあう福祉のつどい2017」
3. }
4. 第67回社会を明るくする運動作文コンテスト
5. 平成29年度「ちいきふくし講座」
6. 民生委員だより / ひだまりだより / お知らせ
7. ちいきの輪
8. よろず相談 / 法律相談 / 善意銀行だより / ほっこりカフェ



## 日野町社会福祉協議会 会長表彰・感謝状贈呈者・団体

(社会福祉関係役職等にあつて概ね7年以上で、その期間に功績顕著な方)

【民生委員・児童委員】

平井隆嗣(豊田2区)      山添 潔(下駒月)

【福祉協力員】

北川幸子(下駒月)      山田裕子(川原)

堀江清一郎(杣)      坪倉幸枝(増田)

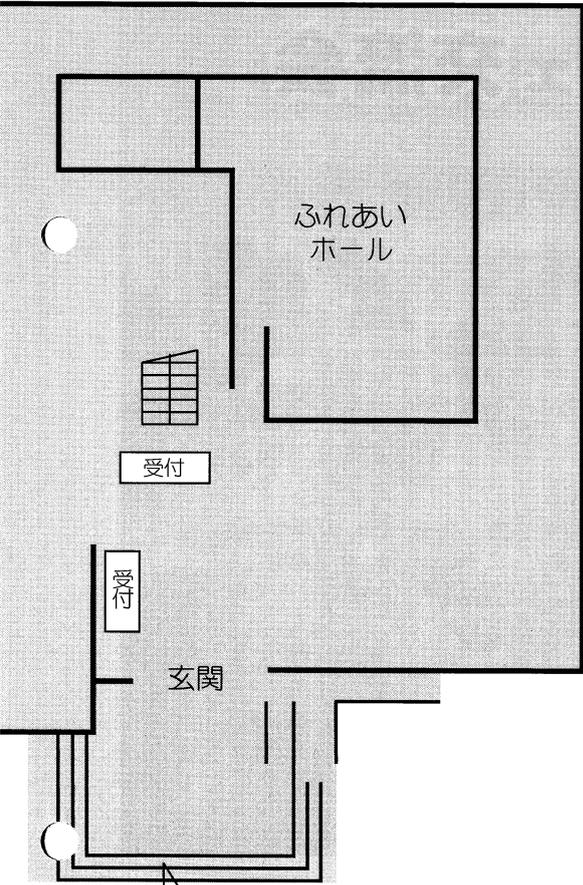
(社会福祉に功績顕著な方で、住民の模範となる個人・団体)

【個人】 武本みち代(蓮花寺)      布施典子(西大路2区)

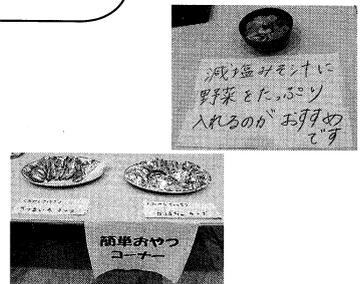
【団体】 必佐地区社会福祉協議会      日野地区社会福祉協議会      コーヒー入れ隊 まつぼっくり

(社会福祉のため多額の金品の寄付、奇行を行つた個人・団体)

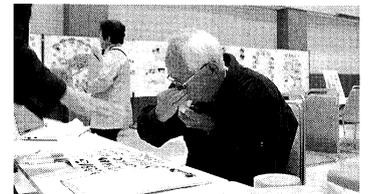
【団体】 (株)奥田工務店      蒲生ゴルフ倶楽部      蒲生協友会      (順不同・敬称略)



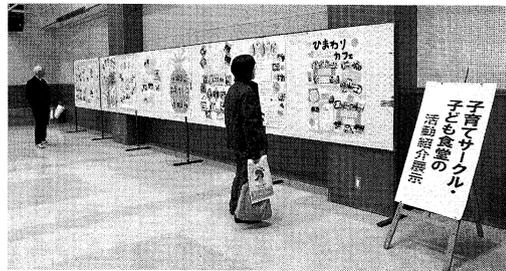
### ふれあいホール



▲簡単おやつ、減塩みそ汁試食コーナー  
(日野町健康推進員)



▲健康測定コーナー～パパ・ママ タバコを吸わないで!!～  
(福祉保健課)



▲子育てサークル・子ども食堂の活動紹介展示

日野中学校の皆さんの呼び掛けで、  
42,208円の募金をいただきました。



赤い羽根共同募金活動(日野中学校)

### 玄関ホール



自主製品販売(わたむきの里作業所)

# 心ふれあう 福祉のつどい2017

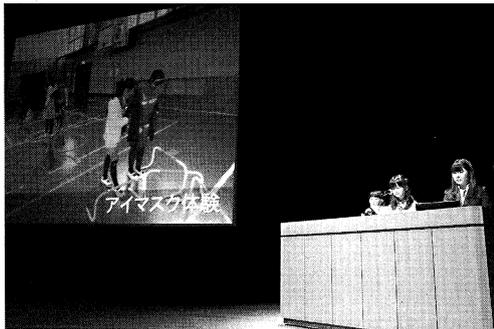
「広げよう 地域のふれあい 支えあい」  
～みんなで育てよう 子どもの笑顔～

去る11月23日（木・祝）、町民会館わたおきホール虹にて、「心ふれあう福祉のつどい2017」を開催しました。  
今年、「みんなで育てよう 子どもの笑顔」をテーマに、町民の皆さんに、地域のつながりやボランティアへの関心を高めてもらうことで、地域でのふれあいやご近所との「絆」が一層深まり、助けられたり助けたり、支えあいのまちづくりが広まることを目的に開催しました。  
当日は、約400名の町民の皆さまにご参加いただきました。本当にありがとうございました。

## 大ホール



▲オープニング（日野歌謡クラブ）



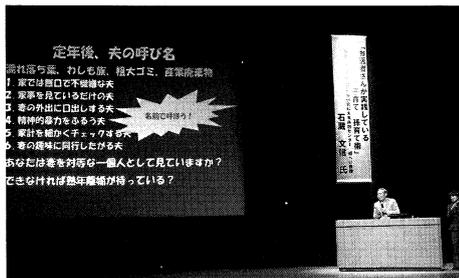
◀福祉教育推進校発表  
（南比都佐小学校）



ファミリーサポートセンターの▶  
取り組み発表  
（杉原 佳乃氏）

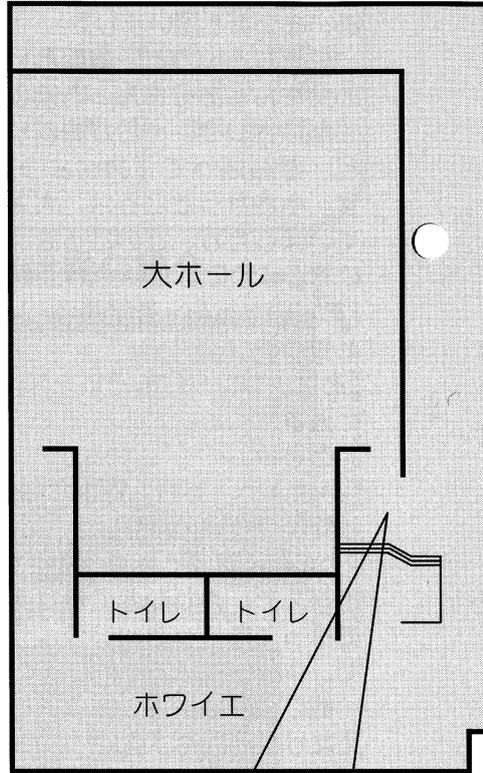


▲手話うた「日野が好き」（日野町赤十字奉仕団）



▲記念講演

「お医者さんが実践している 子育て 孫育て術」（講師：石蔵 文信氏）



福祉団体活動等の展示紹介



## 第67回“社会を明るくする運動”作文コンテスト“で、最優秀賞(滋賀県推進委員会委員長賞)を受賞

福祉ひの第154号(11月発行)で、第67回“社会を明るくする運動”作文コンテストに応募いただいた方の中から、小学生の部3点、中学生の部2点の作品を滋賀県推進委員会へ推薦したことをお知らせしました。

滋賀県推進委員会で作文審査会が開催され、小学生の部で日野小学校5年の小田実怜さんが最優秀賞を受賞されました。県内の小学生2,678作品の応募の中から選ばれ、中央推進委員会(全国)に推薦されました。

### 「みんなあいさつでつながっている」

日野小学校5年 小田 実怜

わたしは「社会を明るくする運動」と聞いて、最初に思いつくのは、毎日の気持ちの良い明るいあいさつだと思いました。

なぜかという、毎朝おじいさんとおばあさんとお父さんとお母さん、お姉さんとお兄さんと大家族のあいさつで、一日が始まります。朝はねむたいけど、がんばって「おはよう」とあいさつしています。小さかったころは、大人からあいさつが始まっていたのですが、このごろは、わたしの方から積極的に言うように心がけています。

「おじいちゃん、おはよう。」  
と言うと、  
「おはよう、今日も元気だな。」  
と返事がくる。

ある日、  
「おはよう、あれ、返事がないね。しんどいのか。」  
と聞いてくる。わたしは、  
「うん、体がだるくて、のどがいたい。」  
と答えた。カゼひきで熱があり、すぐに病院へつれて行ってもらったというように、あいさつするだけで、体調のことまでわかってしまいます。

他には、あいさつするとどんな効果があるのか考えたり、調べてみました。

まず、あいさつは、相手のけいこい心をときほぐし、「わたしは、あなたの敵ではありませんよ」という安心感をあたえます。そして、あいさつをして返事があることによって、相手のそんざいをみとめてあげ、自分のそんざいもみとめてもらうとういであると思いました。

事典で、「おはよう」を調べてみると、「早くからご苦労様でございます」の略で、朝から働く人に向かって言うねぎらいの言葉と書いてありました。

わたしの住む町では、田畑が多いので、朝、夕方の登下校時は、田畑で農作業をしながら、「おはよう、今日もがんばって行ってきいや、気をつけて行きいや。」と声をかけてくれる大人がいっぱいいます。

そして、「あなたは、あそこの家の孫やなあ。」とかわれています。

それを聞いて、「わたしのこと知ってるんだ、あのおじいさん。」と思いました。「今日も、一日がんばって、学校に行くぞ。」と少しうれしくなり、心も明るくなって学校に行くことができました。

登下校中も毎日、交差点で旗を持ち集団登下校して来る子供達を見守って交通をスムーズにしてくれているおじいさんがいます。集団登下校中に車が子供の列につっこぶ事故がよくニュースでながれていますが、こういう大人がいてくれるとすごく心強いなあと思いました。

この時、集団登下校している子供達は、交差点を横断する時、班長が班旗を持って、先に前に出て車を止めてくれます。そして、安全を確かめてみんなが横断します。渡り終えたら、車の人の方にしっかりと向き、ありがとうの気持ちをこめていねいな深いおじぎをします。このことが、地区こんだん会での話し合いにとりあげられたそうです。

登下校の時、車の人達にていねいな深いおじぎをしてきていて、大人はそれを見て、とても感心しているという話がでたそうです。その時に来ておられた先生も、「小学校にも、すぐくていねいにおじぎをしてくれる児童がすばらしいと電話がかかってきているよ。」とうれしそうに話されていたとお母さんから聞きました。なんだかあいさつするだけで、とても心があたたまり、わたしまでうれしくなりました。

あいさつは、町の防犯効果を高め、人々の心を明るくし、日ごろのあいさつが、いざという時にスムーズに助け合うことができる大切なことだと感じました。

今は知らない人にはあいさつしてはいけないという時代だけど、あいさつで人と人とのつながりをもっておくことが、明るい社会につながっていくと思いました。わたしは、これからも、自分から進んで、あいさつして明るい社会にしていきたいと思いました。



▲意見発表大会で作文を披露していただきました

#### お詫びと訂正

福祉ひの第154号(11月発行)で、小田実怜さんのお名前の漢字を間違っ  
て掲載しておりました。お詫びして訂正  
いたします。申し訳ございませんでした。

(誤) 小田美怜 → (正) 小田実怜

# “平成29年度 ちいきふくじ講座”を開催しました!!

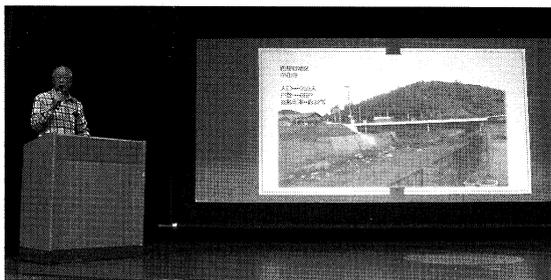
## 【第1回】日野町★再発見 ～外から見た日野町～



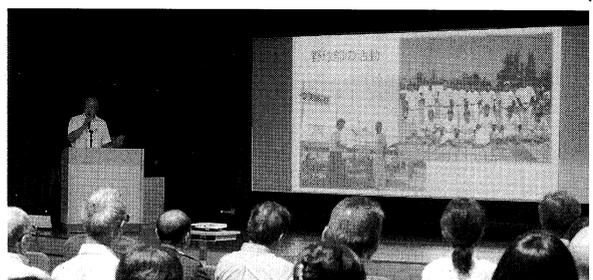
第1回目は、日野町で地域おこし協力隊として活躍されている、鵜瀬ゆりさんと谷口智哉さんにご講演いただきました。鵜瀬さんからは“日野町の魅力”や“日野町の好きなところ”をご紹介いただきました。また、谷口さんには、自身が作成された“近江日野まち検定”をご紹介いただき、参加者のみなさんに検定を受けていただきました。

忘れかけていた日野の魅力を再発見していただけたことと思います。

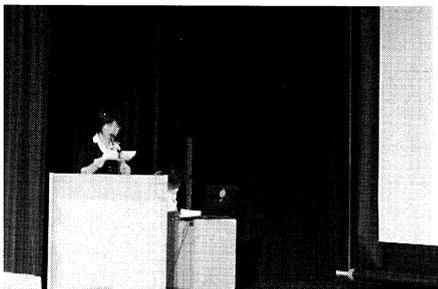
## 【第2回】JJ1グランプリ△(自治会自慢大会)～地域活動の紹介～



▲中在寺福祉会 矢尾正利さん



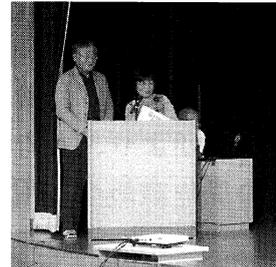
▲奥師せせらぎ福祉会 外山章さん



▲北畑福祉会 廣瀬敏子さん



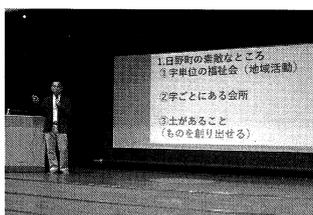
▲下迫福祉会 柚木仁さん



▲上三十坪せせらぎ福祉会 富田敏夫さん、新海幸子さん

第2回目は、町内の5つの自治会の方から自字の活動の紹介をしていただきました。発表していただいた自治会の方には、お住まいの地域の良さを再発見し、我が町をさらに好きになっていただけたことと思います。また、聞いてくださった方には、地域活動のヒントを得ていただけたのではないのでしょうか。

## 【第3回】我が町をもっと好きになるために ～今後の地域活動に向けて～



第3回目は全体のまとめとして、京都華頂大学の藤井伸生教授にご講演いただきました。

今年度は、“我が町日野、そして地域をもっと好きになるために”と“楽しく”をテーマに、全3回の講座を開催させていただきました。延べ405名の方にご参加いただき、盛大に開催することができました。どうもありがとうございました。



## 地域福祉部会の活動

地域福祉部会 部会長 清水勝三

新民生委員による地域福祉部会になり、早一年が過ぎました。

二月には、毎年恒例事業になっております「しあわせのおはぎ」を配りました。一人暮らしのお年寄りの「安否確認」や生活の状況を知ることが、民生委員にとって、大事なことであると思っています。

今年度に入り、身近なところから学習を始めようと、町内二箇所の施設を七月に見学しました。一つ目は特別養護老人ホーム「白寿荘」、二つ目は障害のある方の就労支援事業を行っておられる「わたむきの里作業所」でした。

十一月には県内先進地視察ということで、米原市の「大野木長寿村まちづくり会」を見学にも行きました。我々民生委員は、地域住民の皆様の見守りが一番大事な活動と 생각합니다。

施設の見学や視察を通していろいろなことを見聞することで、地域住民皆様の日常生活の異変にいち早く気づく目を養い、行政とのパイプ役に日々努めて行くのが特に地域福祉部会の活動であると考えています。



## かいご ひだまりだより

### 介護の仕事の楽しみ

ひだまり事業所 福田理恵

デイサービスひだまりは開所15年目を迎えます。私は相談員として、利用者さんの自立支援のために、利用者さんやご家族さんからの介護や生活の相談を受けたり、町や他事業所、他機関との連絡調整の仕事をしています。民生委員さんや地域の方が利用者さんを心配して来られることもあります。その度に、日野町の地域の支え合いを感じ、温かい気持ちにさせられます。

私は、仕事で何かに悩む時、いつも思い出す利用者さんがいます。初めて就職した特別養護老人ホームで出会ったAさんです。体重90kgで全介助の彼女のオムツ交換は、きれいに当てさせていただくのに何度も微調整が必要でした。夜勤明けで朝のオムツ交換をする私に満面の笑顔で、「あなたのオムツは上手だ」と言ってくれました。お世辞と分かりますが、その言葉は今も私の大きな支えになっています。利用者さんやご家族さんの笑顔は、私の仕事の楽しみです。

去る10月25日(水)、公益財団法人みずほ教育福祉財団より、わたむきの里作業所へ、配食用小型電気自動車「みずほ号」が寄贈されました。配食事業に活用されます。



## 鎌掛2区いきいきサロン

鎌掛2区で19年続いているサロンがあるとお聞きし、お邪魔しました。

女性ばかりのグループで手芸を中心にされているとのこと。お邪魔した日は、11月に開催される地域の文化祭に向けての作品を作っておられました。いくつかある柄の中から自分の好きなものを選び、木目込みの要領で布を少しずつボードに埋め込み作品に仕上げていきます。細かい部分のところや、色づかいの変わる場所もあり、お喋りを楽しみながら、でも手元は真剣に取り組んでおられました。

来年春には成人式を迎えるサロンです。



## 小井口サロン

小井口のサロンに行ってきました。毎週月曜日の午後、おたっしや教室やグラウンドゴルフなどを楽しんでおられるとのこと。

この日は17名の参加。その内、半数は男性でした。

おたっしや教室のサポーターのお二人が、楽しいお喋りを交えながら体操の指導をしてくださいます。参加者の方との言葉のキャッチボールも弾み、楽しい笑いの中で時間を過ごしておられました。



会所の玄関前に蕎麦の実が天日干しされていました。お尋ねすると、栽培から収穫まで字の皆さまでされ、年末には蕎麦打ちをして字内で交流されるとのことでした。美味しいと評判だそうです。

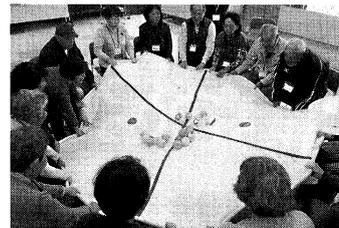
## 脳いきいきゲームリーダー養成講座

平成26年から続いている、“認知症予防脳いきいきゲームリーダー養成講座”が今年も開かれました。それと並行して、これまでの修了生のスキルアップ講座も開かれ、忘れかけていたゲームの進行の仕方やゲーム1つ1つが持つ意味など、復習や確認を行いました。

今年は、小野地区・湖南サンライズ地区の皆さまのご協力をいただき、リーダーの実践もさせていただきました。

以前学んだことを、それぞれの字の活動に生かしていただけることを思いながら、楽しい時間を共有できたように思います。

今年も、京都のNPO法人認知症予防ネットから中村先生が来てくださり、ご指導いただきました。



## 認知症カフェ

今年9月から、西大路にある“ゆめさと”にて、認知症カフェが月1回開かれています。

家族の認知症が心配、介護中の方、介護経験のある方などどなたでもご参加いただけます。保健師や社会福祉士、ケアマネジャーなどの専門のスタッフも相談に応じてくださるそうです。お気軽にのぞいてみませんか。

～～認知症カフェ 「茶のみ処 わたむき」～～

- 場 所 ゆめさとデイフロアー (西大路)
- 日 時 毎月第3土曜日 10:00～12:00 (出入り自由)
- 参加費 100円 飲み物代無料 (事前申し込みは不要)
- 問合せ 日野町役場長寿福祉課 (☎52-6501)  
地域包括支援センター (☎52-6001)



## 相談のご案内

～お気軽にご相談ください～

### よろず相談（予約不要）

暮らしの困りごとや悩みごとなど、お気軽にご相談ください。

**\*相談日時** 毎週木曜日（祝日は除く）  
午前9時～正午まで  
（受付締め切り時間は11時30分）

**\*相談場所** 日野町勤労福祉会館相談室  
予約は必要ありません。相談のある方は直接会場へお越しください。

### 法律相談（要予約）

法律的な専門知識が必要な相談も受け付けています。

**\*相談日**

- ① 1月15日（月） ② 2月5日（月）
- ③ 3月5日（月）

**\*相談時間** 午後1時30分～午後4時まで  
1人あたり30分（各日5名まで）

**\*相談場所** 日野町勤労福祉会館相談室

**\*相談員** ①③京町法律事務所弁護士  
② あけぼの法律事務所弁護士

**\*事前予約が必要です（毎回先着5名）**  
日野町社会福祉協議会までご連絡ください。  
あらかじめ相談概要をお伺いします。

**【日野町社会福祉協議会 電話 52-1219】**

## ほっこりカフェ

在宅で高齢者を介護されている方の、毎日の介護で疲れた身体と心を癒していただくための場です。

都合のつく時間にお気軽にご参加ください。

日にち	内容
1月18日（木）	絵手紙
2月14日（水）	内容は未定です
3月22日（木）	

**\*時間** 13:00～15:00  
**\*場所** 日野町勤労福祉会館  
**\*問合せ先** 日野町社会福祉協議会  
☎ 52-1219



## 善意銀行だより

（平成29年9月26日～平成29年11月25日まで）

### 【現金預託】

〈順不同敬称略〉

預託者	金額
T・M 2件	4,000円
匿名	8,979円
寺澤 清穂	10,000円
ままのちくちく	5,000円
善意の箱	2,970円
NPO法人ひびきあい日野 （わたむきの里福祉会へ指定寄付）	44,000円
(株)奥田工務店	100,000円

### 【物品預託】

〈順不同敬称略〉

預託者	物品名
T・M 2件	菓子
中西 英郎	菓子
匿名 2件	野菜
匿名	米1袋
匿名	もち米3袋
匿名	米1袋・調味料
匿名	米2袋
匿名	柿
匿名	米1袋
匿名	洗剤
匿名	米2袋
グリーン近江農業協同組合	米2袋
農事組合法人みらいファームしもはさま	米10kg

善意銀行への温かいご寄付ありがとうございます。  
みなさまの善意を地域福祉向上に役立てていきます。

また、野菜や物品のいただきものは町内施設や社協事業などで使わせていただきます。



▲NPO法人ひびきあい日野様



▲(株)奥田工務店様